

小牧市子ども・子育て支援事業計画

平成 3 0 年度実績報告書

【目次】

1 施策の展開	1 ～ 2 2 ページ
2 教育・保育の量の見込みと提供体制の確保	2 3 ～ 2 6 ページ
3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保	2 7 ～ 4 0 ページ

1 施策の展開	基本目標1	地域の子育て・子育てを支援します
---------	-------	------------------

施策1 こどもの夢・チャレンジの応援

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい ー:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	「夢の教室」開催事業	市内小学校で実施(5年生1,437人)。野球、サッカーなど様々な競技のトップアスリートを「夢先生」として招き実施した。	対象 児童数 (例年)	3	ー	児童やその保護者からも肯定的な意見が多く、他自治体から実施内容についての問合せもあった。		学校教育課
2	こども夢・チャレンジカップU-12(小牧市長杯)開催事業	平成30年5月3日～4日にパークアリーナ小牧にて在日海外クラブチーム等10チームが参加し12歳以下のサッカー大会を開催した。	事業の 実施 (例年)	3	ー	例年とおりの参加数であるが、当初目的としていた海外クラブチームの参加数は頭打ちとなっている。(平成30年5チーム)		スポーツ推進課
3	市内産業見学会開催事業	市内企業の協力のもと、3社の見学・調理体験、また、消防署・市民病院で職業体験を行った。見学会の参加者は計40名、職業体験の参加者は計32名。	参加者数 (例年)	3	大	例年定員以上の応募があり、需要は大きいと思われる。参加者からも好評を得ている。	新規受け入れ可能企業がほとんどないため、新たな見学先の検討が必要となっている。	こども政策課
4	夢にチャレンジ助成金支給事業	高校生1名、大学生3名(うち3名は1グループ)の計2件に対して助成をした。助成額の合計は、593,917円。	助成件数 (例年)	3	ー	例年通りの実績であり、今後も継続して支援していく。	周知方法の検討が必要。	こども政策課
5	児童館の英語事業	例年通り、主に、未就学児、幼児、小学生親子を対象に市内全児童館(8館)で開催した。土日に開催日を設定するなど、利用者のニーズに沿った運営を行った。	事業の 実施 (例年)	3	ー	利用者にも好評を得ており、引き続きニーズに合った講座を実施する。		こども政策課
6	コマキッズ ドリームバスギャラリー	市内幼稚園児の作品計199枚をピーチバス・巡回バスに掲示した。	取組の 実施 (例年)	3	ー	例年通り実施した。	市内幼稚園及び保育園を一巡したため、30年度で事業を終了。	こども政策課
7	大学生等海外留学奨学金支給事業	なし	助成件数 (例年)	2	小	例年応募者は少ない傾向にあり、昨年は問い合わせはあったが応募者はなく、需要が少ないと思われる。	県内大学や公共施設に依頼し、ポスターや募集要綱を設置してきたが、応募がなく、原因分析、事業の見直しを検討する必要性がある。	こども政策課

こども・子育て会議での意見

1 施策の展開	基本目標1	地域の子育て・子育てを支援します
---------	-------	------------------

施策2 子育て支援ネットワークづくり

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	利用者支援事業 (基本型) (母子保健型)	平成30年9月に子育て世代包括支援センターを開設し、基本型と母子保健型が一体となって利用者支援事業を実施。(相談延べ件数100件)	実施 箇所数 (見込)	2	一	相談に応じて保健師、助産師、保育士が対応し、より専門的な回答をすることができた。		こども政策課 子育て世代包括支援センター
2	子育て支援ネットワークづくり	子育て世代包括支援センターの支援員や、家庭児童相談員による関係機関訪問を行った。市内のみならず近隣市町村の保育施設を訪問し、ネットワークづくりに努めた。＜市内＞認可外保育園・小規模保育園・私立幼稚園・企業主導型保育園計29園中23園訪問。＜市外＞私立幼稚園1園訪問。 子育て世代包括支援センターの支援員、家庭児童相談員、母子保健担当職員で月に1回、情報共有のための会議を開催した。	取組の 実施 (例年)	3	一	関係機関への訪問を継続し、円滑な連携が図れるように努める。	情報共有会議については、来年度以降、他機関(保健センター等)も会議に参加してもらうよう検討する。	こども政策課

こども・子育て会議での意見

1 施策の展開	基本目標1	地域の子育て・子育てを支援します
---------	-------	------------------

施策3 地域での交流の場の確保

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	地域子育て支援拠点事業	地域子育て支援拠点事業の一般型として子育て世代包括支援センター(旧中央子育て支援センター)、連携型として篠岡、北里、味噌岡、大城、小牧、小牧南、西部児童館の7か所で子育て支援室を実施した。また、移動子育て支援センターも実施した。中央子育て支援センターについては、子育て世代包括支援センターとしてラピオ内に移転し、9月にオープンした。 30年度利用者数:181,689人	利用者数 (見込)	4	—	子育て広場が8月で閉鎖されたため、前年度までと比較して全体の利用者数は減っている。 職員の資質向上を図るため、子育て支援員研修を3回実施した。		こども政策課
2	児童館事業	中核機関である児童センターを除く7児童館全てが、指定管理者による運営をしている。毎月館長会を開催し、基本的な運営方針を共有しながら、独自の事業も取り入れ、地域に根ざした児童館運営を行った。	事業の実施 (例年)	3	—	利用者アンケートを実施し、小学生420人、中学生325人、保護者463人から回答を頂いた。「お子様は児童館に喜んで行っていますか。」「職員の対応は好ましいですか。」といった各質問項目において、90%以上の方が「はい」と答え、自由記述でも前向きな回答が多かったことから、概ね満足頂いている。また、「床が冷たい」「年少組のクラブを設けて欲しい」という要望に対応し、改善を図った。		こども政策課
3	母親クラブの育成	各児童館で活動する母親クラブに対し、子育てに関する知識の習得や仲間作りなどの手助けをした。 クラブ員数:29年度682名、30年度638名	クラブ員数 (例年)	3	—	特になし。		こども政策課
4	子ども会活動の支援	市子連と児童館の協賛によるこまキッズフェスタ2018を開催し、子どもに遊びを提供することにより健全育成を促すとともに、市子連への加入推進を図ったが、加入数は減少している。 市子連加入子ども会数:29年度37、30年度36	取組の実施 (例年)	3	—	市子連へ加入すると、補助金を受けられたり、市のバスが利用できるなどの利点があるものの、会議への参加など役員の負担が大きいという声がある。	市内の子ども会の現状を把握するため、各区をとおして市子連に加入していない子ども会の活動状況について調査を実施する予定。	こども政策課
5	地域こども子育て条例の制定	本条例は平成27年度に条例検討委員会を中心に検討を重ね、平成28年度より施行された。市ホームページ等を中心に引き続き本条例の広報・啓発を行った。	取組の実施 (例年)	3	—	特になし。		こども政策課

1 施策の展開	基本目標1	地域の子育て・子育てを支援します
---------	-------	------------------

施策3 地域での交流の場の確保

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい ー:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
6	赤ちゃんの駅事業	公共施設27施設、民間施設25施設で提供を行っている。	対象 施設数 (例年)	3	ー	平成30年度中は登録施設の増減はなかったが、既存施設においては適宜利用されている。今後は登録施設が増えるようホームページ等も活用し、引き続き広報に努めていく。		こども政策課
7	地域活動事業	(保育園・第一幼稚園) 世代間交流事業、保育園卒園児との交流などの事業を各保育園、第一幼稚園で実施した。 主な活動は、七夕会、運動会、敬老会、クリスマス会など。 開催回数:77回	開催回数 (例年)	3	ー	例年どおりの実施状況であり、各園の年間行事として定着している。		保育課
		(私立幼稚園、旭ヶ丘第二こども園) 世代間交流事業、地域交流事業等を私立幼稚園9園で実施した。主な活動としては、夏まつり、七夕まつり、運動会、クリスマス会、高齢者との交流会、高齢者施設訪問、中学生・高校生体験など。 開催回数 91回 旭ヶ丘第二こども園で8回開催	開催回数 (例年)	3	ー	例年どおりの実施状況であり、各園の年間行事として定着している。		
8	園庭開放	(保育園・第一幼稚園) 月に2回、保育園、第一幼稚園の園庭を地域の未就園児の遊び場として開放し、同時に育児相談等を実施し、育児支援を行った。 園庭開放参加者数:1,938人(親・子)	参加者数 (例年)	3	ー	今後も引き続き、計画どおり実施する。	園庭開放の場で、育児相談等がしやすい雰囲気づくり、仕組みづくりを検討していく。	保育課
		(私立幼稚園、旭ヶ丘第二こども園) 私立幼稚園9園で、地域の未就園児親子に、遊び場及び交流の場として園を開放し、同時に育児相談等を実施して子育て支援を行った。 園庭開放参加者数:6,564人(親・子) 旭ヶ丘第二こども園の実績 130人(親・子)	参加者数 (例年)	3	ー	例年どおりの参加数であり需要に過不足はない。		

こども・子育て会議での意見

・地域活動事業について予算や補助等が必要ではないか。

1 施策の展開	基本目標1	地域の子育て・子育てを支援します
---------	-------	------------------

施策4 青少年健全育成

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価指標 (対比視点)	実施状況	需要状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	少年センター事業	電話、Eメール、カウンセラーとの面談等、青少年に関する相談活動を行った。(H30実績:217件) また、少年センター補導員、PTA、学校等が協力してパトロールを行い、青少年の非行防止を図った。(H30街頭補導巡回数:475回、補導従事者数:1,323人)	相談件数 巡回数 (例年)	3	一	カウンセラーによる相談も定着してきたことから、年々相談件数は増加しており、今後も引き続き実施する。 街で子どもを見かけなくなったためパトロールの回数を少し減らしたが、一定の抑止効果は見込まれるため、引き続き非行防止に努める。		こども政策課
2	各中学校区青少年健全育成会活動の活性化	小・中学校と地域のふれあい活動や地域活動への小・中学生の参加を奨励した。また、5月と11月に「笑顔でさががけあいさつ運動」を推進し、安全安心な街づくりに寄与した。	取組の実施 (例年)	3	一	「少年の生活意識と行動」の実態調査によると、声をかけてくれる人がいると感じている子どもの割合が増加しており、あいさつ運動の成果が確認できている。		こども政策課
3	幼児期家庭教育学級・家庭教育推進事業	市内小中学校25校、幼稚園・保育園・こども園の26学級が事業を行った。	実施件数 (例年)	3	一	保護者会や父母学級が活動を企画・開催し、家庭教育について学習することで、家庭での子どもの教育・成長に役立てることを目的としているが、計画の一部には、催し物を見て楽しむといった趣旨のもの含まれている。 ※催し物を見たことにより、家庭での会話が増えるという一面もあるため、一概に家庭教育にそぐわないわけではない。		生涯学習課
4	児童委員・主任児童委員活動の充実	児童委員に児童虐待の現状を知ってもらうため、里親体験発表会に参加していただいた。また、市の各種サービスに対して情報提供を行い、活動の充実に向けた働きかけを行った。	取組の実施 (例年)	3	一	長期休み中で公的機関による見守りができない家庭に対して、児童委員に見回りを依頼して、個別に連携を図ることができた。		こども政策課、福祉総務課

こども・子育て会議での意見

- ・青少年に関する相談活動について、引きこもりやゲームの依存症への支援対策プログラム等も検討願いたい。
- ・新たな課題もでてきているが、いじめや自殺もまだまだ解消していない課題であるため、よりしっかりと防いでいくための方策も検討願いたい。

1 施策の展開	基本目標1	地域の子育て・子育てを支援します
---------	-------	------------------

施策5 子ども同士や地域の大人との交流

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい ー:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	地域3あい事業	市内66区が事業を行い、全活動数671件の内、516件の活動に28,789人の子どもが参加した。	活動件数 (例年)	3	ー	事業の実施により、地域住民のつながりを深めることにつながったなど、肯定的な認識は多いが、運営委員及び住民の高齢化により、運営に大きな負担を感じている区もある。また、今後の運営委員の引き受け手に関する懸念の他、行事への参加者が十分に集まらない・固定化しているなど、企画・運営における難しさの声もある。		生涯学習課
2	学校地域コーディネーター派遣事業	16小学校に26名、9中学校に14名のコーディネーターを配置し、学校支援ボランティアの活動支援、児童・生徒の地域活動への参加を促進した。	コーディネーター数 (例年)	3	ー	例年どおりの人数を派遣し、地域活動を支援した。	学校によっては、同じ方が長期間活動されており、後継者不足が課題となっている。	こども政策課

こども・子育て会議での意見

--

1 施策の展開	基本目標1	地域の子育て・子育てを支援します
---------	-------	------------------

施策6 体験活動事業の充実

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	子どもの体験活動の推進	こども自然体験活動 親子でじゃがいもづくり(80家族)、わくわく 魚とり(1,000人)、もち米づくりにチャレン ジ!(50人)、身近な自然観察(26家族)、 Jrセミナー児の森(34人)、こどもまつり (42人) ジュニアセミナー 実績:合計28講座 512人	参加者数 (例年)	3	—	イベントは参加申し込みが定員を上回り抽選となるなど概ね好評である。	田畑の日常的な管理などの担い手が高齢化しているため、事業の継続に向け、新たな担い手を検討する必要がある。	こども政策課
2	放課後子ども教室	市内16小学校で年間336回実施し、登録児童数は535人であった。 読み聞かせ、工作、集団遊び、学習など様々な活動が行われた。	実施回数 (例年)	3	—	参加児童や保護者からは概ね評判はよく、多数申込のため抽選となる教室もある。ただし、学校によっては1年生から6年生を対象とし、同一内容で活動しているため、高学年の参加が少ない傾向がある。	小学校コーディネーターを中心とし、地域のボランティアの方が運営に携わってくださっているが、近年、教室によっては、指導員不足となっているところもある。	こども政策課
3	放課後子ども総合プラン	放課後子ども教室には児童クラブに通っている児童も申し込みをすれば参加することができる。児童クラブと放課後子ども教室が共催して、本の読み聞かせを行っている学校もある。また、児童の放課後のあり方に関する検討部会を開催し、今後の一体化に向けた検討を行った。	取組の実施 (例年)	3	—	特になし。	検討部会から提出された提言を踏まえ、今後放課後子ども総合プラン導入検討委員会を立ち上げ、一体化に向けた詳細を検討していく予定である。	こども政策課

こども・子育て会議での意見

・放課後子ども教室の現状および課題等の対応状況について情報提供を望む。

1 施策の展開	基本目標2	子育て家庭を支援します
---------	-------	-------------

施策1 子育てと仕事の両立支援の充実

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	23年度から児童クラブの開設時間が延長となり、利用者数が減少したが、今後も利用者のニーズに応じて使いやすしいものとなるよう、工夫をしていく。 29年度利用件数:686件 30年度利用件数:583件	利用件数 (見込)	3	—	利用件数及び会員登録数は減少傾向にあるが、周りから支援が得られない家庭には、重要な事業となっている。	平成28年度に会員の有効期限が5年間から1年間に変わったことにより、会員数が減少傾向にあるため、会員の確保が課題。	こども政策課
2	一時預かり事業	(保育園・第一幼稚園) 各保育園において、一時的に保育が必要となった子どもの保育を実施した。 私的利用:1,429件 緊急一時:35件 非定型 :2,795件 第一幼稚園では未実施	利用件数 (見込)	3	—	特になし。		保育課
		(私立幼稚園、旭ヶ丘第二こども園) 《幼稚園型一時預かり事業》 平成30年度は実績なし 《私学助成》 私学助成を受けて預かり保育を実施した私立幼稚園9園の実績 延べ利用者数 49,000人 私学助成を受けて預かり保育を実施した幼保連携型認定こども園の実績 実施園:1園(旭ヶ丘第二こども園) 延べ利用者数:443人	利用者数 (見込)	4	大	幼保連携型認定こども園では減っているが、私立幼稚園では需要の増大に応じて受け入れも増やしている。		
		平成30年9月より子育て世代包括支援センターの一時預かり室において、生後6カ月から就学前のお子さんを3時間まで預かる事業を開始した。 平成30年度実績:96人(7か月間)	利用件数 (例年)	—	—	事業の周知を継続し、子育て世帯の支援に努める。		子育て世代包括支援センター
3	子育て短期支援事業(ショートステイ)	実績なし	利用件数 (見込)	2	小	問い合わせはあったが、利用には至らなかった。		こども政策課

1 施策の展開	基本目標2	子育て家庭を支援します
---------	-------	-------------

施策1 子育てと仕事の両立支援の充実

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
4	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	利用児童数は昨年度よりわずかに減少している。 30年度利用者数(延べ):245,645人	利用者数 (見込)	3	一	働き方の変化等により、長期休業期間を中心に登録児童が今後も増加していくと考えられるため、施設の狭隘化の対応が必要なクラブがある。また、慢性的な支援員の人手不足のため、支援員の確保も必要である。	老朽化した建物、支援員の処遇改善、障がい児童の受け入れ態勢、児童クラブ以外の子どもの受入施設がない等、課題は山積だが、今後、処遇改善による支援員不足解消や施設の確保などに随時取り組んでいく。	こども政策課
5	病児保育事業	(病児対応型) 市内2つの診療所に併設された施設において、病氣中、または病気の回復期にある児童の保育を実施した。 延べ利用者数:734人 (体調不良児対応型) 私立保育園4園において、保育中に体調不良となった児童であって、保護者が迎えに来るまでの間、緊急的な対応を必要とする児童の保育を実施した。 延べ利用者数:917人	利用者数 (見込)	4	大	私立保育園に対し、私立保育所等運営費補助金を活用し、病児保育に対応していただくよう努めている。 実施園では利用者が多く、見込みより需要が多い結果となった。		保育課
6	男性の家事・育児・介護への参加に関する事業	◎男女共同参画について学習し、男女共同参画意識の向上を図るための講座を開催した。 ○男女共同参画講座 男性受講者延84名 (12講座中10講座で男性の受講が可能) ○男女共同参画普及員講座 男性受講者延30名 (4講座中全て男性の受講が可能) ◎男性を対象に、家庭生活への参加を促すために、料理講座をはじめ、親子で取り組む講座を開催した。 ○男性支援講座 6講座 ・男の魅力アップ講座(清掃編) 17人受講 ・男の魅力アップ講座(片付け編) 13人受講 ・男の魅力アップ講座(洗濯編) 14人受講 ・父と子で楽しむ料理講座 前期全3回8組受講 ・父と子で楽しむ料理講座 後期全3回8組受講 ・割烹職人が教える!!男の和食講座 全5回20人受講	開催 講座数 (例年)	3	一	女性と男性の意識の改革を促すためには、継続的な取り組みが必要と考えるため、引き続き対象を絞り、講座を実施する。	広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。 様々な世代の人が申し込みやすいように、往復はがきによる申し込みだけでなく、ホームページの申し込みフォーム、メール、ファックスでの申し込みも実施する。	まなび創造館

1 施策の展開	基本目標2	子育て家庭を支援します
---------	-------	-------------

施策1 子育てと仕事の両立支援の充実

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
7	ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	◆ワーク・ライフ・バランス啓発冊子・リーフレットを商工振興課窓口にて配布した。 ◆ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンのポスター掲示により周知に努めた。 ◆小牧市HPにてワーク・ライフ・バランスに関する情報を紹介し、周知に努めた。 ◆ファミリーフレンドリー企業の登録制度に関する周知活動(市HP掲載)を継続して行った。	取組の実施 (例年)	3	—	H28,29に愛知県と小牧市共催で行われていた「イクボスセミナー」は、H30から管内を移動していく方針に変更し、H30は他市での開催となった。しかし、今後も開催希望は出していき、各冊子配布と併せて、職場の環境改善に向けた啓発に努めていく。		商工振興課
8	事業所内保育所の設置促進	平成30年度に企業主導型保育事業所が2箇所開園した。 ・設置者:CKD(株) 施設名:OhanaNurserySchool 定員25名 H30.4月開所 ・設置者:(株)くえるた(美容院経営) 施設名:ルコアキッズ 定員12名 H30.6月開所	該当事業所数 (例年)	3	—	特になし。		保育課

こども・子育て会議での意見

- ・企業主導型保育事業や認可外保育施設の具体的な利用状況等についての情報提供を望む。
- ・認可外保育施設や地域型保育について、どこにいても一定の水準の質が確保されるように具体的、積極的な方策を望む。
- ・子育て短期支援事業(ショートステイ)について、事前に情報が行き届き、必要な状況となったときにしっかりと利用できるよう周知を望む。
- ・児童クラブ終了時間の18時30分に迎えが間に合わない場合の利用断念やファミリー・サポート・センターの利用状況などの情報提供を望む。
- ・児童クラブの終了時間を保育園の延長時間に合わせて19時までとすることを検討してもよいのではないか。
- ・保育園の迎えに間に合わない場合について、ICカードで機械的に時間を記録するなど、保育士の働き方改革も含めた不公平感のない対策を検討願いたい。

1 施策の展開	基本目標2	子育て家庭を支援します
---------	-------	-------------

施策2 経済的支援策の充実

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	子ども医療費の助成	中学校卒業までの児童を対象に、医療機関等を受診した際の保険診療に係る自己負担分を助成した。対象となる子どもの数 20,134人						保険年金課
2	第3子保育料の無料化	第3子以降の保育料無料を実施した。対象者数:571人						保育課
3	就園奨励費助成事業	子どもを私立幼稚園に通園させている家庭の負担を軽減した。 1,774人 242,050,900円 【第3番目以降の児童(市単独補助)】 303人 26,940,100円						保育課
4	児童手当の支給	6・10・2月の年3回の児童手当支給を遅延なく実施した。 対象となる児童の数:19,312人						こども政策課
5	私立高等学校、専修学校授業料補助	私立高等学校、専修学校に通学されている家庭の保護者の負担を軽減するため、国・県の上乗せ助成として、所得の状況・区分に応じて授業料の一部を助成した。(546人 6,640,526円)	対象 生徒数 (例年)	3	大	補助対象者数は、ほぼ例年どおりであった。私学関係の保護者・団体から、公・私格差の是正を求める声があがっている。	平成31年度から、それぞれの補助区分の上限額を2万円ずつ引き上げ。	学校教育課
6	実費徴収に係る補足給付事業	生活保護法の扶助を受けている世帯の保護者の負担を軽減した。 対象児童数:11人 補助額:61,465円						保育課

こども・子育て会議での意見

1 施策の展開	基本目標2	子育て家庭を支援します
---------	-------	-------------

施策3 ひとり親家庭の自立支援の推進

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	ひとり親家庭への情報提供	ホームページの活用、現況届提出書類の送付時にパンフレットを同封するなど、周知を行った。ホームページにおいては、ひとり親家庭総合サイトを随時更新し、より分かりやすい情報提供に努めた。	取組の実施 (例年)	3	—	引き続き、分かりやすい情報提供に努めていく。		こども政策課
2	女性のための就労支援講座事業	経済的に困難な状況にある女性に自立のための手段となる機会を提供する講座を開催した。 ・人生を変える仕事 ～整理収納アドバイザーになるために～ 全3回 44人受講 ・女性のための就労支援パソコン講座(初級) 全3回 15人受講 ・女性のための就労支援パソコン講座(中級) 全3回 12人受講	講座 開催回数 (例年)	3	—	受講者数やアンケート結果により例年開催の講座の必要性を検討し、ニーズにあわせた講座開催計画をたてることとする。	広報やチラシによる募集だけでなく、ホームページやフェイスブックなど、SNSを有効活用する。 様々な世代の人が申し込みやすいように、往復はがきによる申し込みだけでなく、ホームページの申し込みフォーム、メール、ファックスでの申し込みも実施する。	まなび創造館
3	ひとり親家庭への就業支援	国の制度に準じ、実施した。 ＜29年度実績＞ ・自立支援教育訓練給付金:1人 ・高等職業訓練促進費:3人 ・ひとり親家庭等入学支援金:57人 (対象児童は58人) ・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援金:1人 ＜30年度実績＞ ・自立支援教育訓練給付金:4人 ・高等職業訓練促進費:5人 ・ひとり親家庭等入学支援金:51人 (対象児童は51人) ・ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援金:1人	対象者数 (例年)	4	—	ひとり親家庭への就業支援を行い、経済的な自立を促進した。		こども政策課
4	県・市遺児手当の支給	県・市の制度に伴い、実施した。年3回の遺児手当支給を遅滞なく行い、ひとり親家庭の負担軽減に努めた。 30年度実績:22,133人						こども政策課

1 施策の展開	基本目標2	子育て家庭を支援します
---------	-------	-------------

施策3 ひとり親家庭の自立支援の推進

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
5	児童扶養手当の支給	国の制度に従い、実施した。 30年度実績:19,699人						こども政策課
6	母子家庭等日常生活支援事業	広報等により制度の周知を図り、より多くのひとり親世帯が、有効に活用できるようにした。 29年度実績:ヘルパー派遣3世帯、延べ派遣時間38時間 30年度実績:ヘルパー派遣3世帯、延べ派遣時間101.5時間	ヘルパー派遣件数 (例年)	4	大	ひとり親家庭にヘルパーを派遣し、生活の安定を図った。		こども政策課
7	母子・父子相談	必要とする方に母子・父子相談の存在を知ってもらえるよう、広報等により周知を図った。 29年度実績:1,078件(母子相談) 153件(父子相談) 30年度実績:1,035件(母子相談) 124件(父子相談)	相談件数 (例年)	3	一	研修を通じ職員の資質向上を図った。	現在、相談員1名体制で、他の事案ですぐに対応できないことがあるため、相談員の増員を検討する。	こども政策課

こども・子育て会議での意見

1 施策の展開	基本目標2	子育て家庭を支援します
---------	-------	-------------

施策4 児童虐待防止対策の充実

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	家庭児童相談	家庭児童相談件数 <29年度> 241件(延べ件数) 109件(実件数) <30年度> 412件(延べ件数) 141件(実件数)	相談件数 (例年)	4	—	愛知県家庭児童相談員連絡協議会の研修会に参加し、質の向上に努めた。また、関係機関とのネットワーク会議にも多数参加するなど、適切な関係機関に繋ぐことも含め、相談者の問題解決に努めた。		こども政策課
2	児童虐待防止のための早期発見・早期対応	要保護児童対策地域協議会の関係機関(こども政策課、保健センター、児童相談センター、学校教育課、福祉総務課、警察等)が持っている情報を共有し、連携を図り対応した。 30年度要保護児童対策地域協議会実務者会議におけるケース件数:414件(実件数・29年度は431件)、内29年度との重複件数202件。30年度措置入所者数33人、一時保護55人。	取組の実施 (例年)	3	—	小中学校、幼稚園などにマニュアルを配布し、児童虐待の疑いがあれば、こども政策課へ連絡してもらうよう周知している。		こども政策課
3	要保護家族のフォローケア事業	要保護児童対策地域協議会実務者会議を中心に関係機関の連携を図り、被虐待児童等のフォローケアに努めた。毎月1回要保護児童対策地域協議会実務者会議を開催し、虐待を受けた子ども・虐待した親・保護者のフォローケアに努めた。	取組の実施 (例年)	3	—	実務者会の他にも必要に応じて、個別のケース会議を開催し、各機関の役割分担を決めフォローケアに努めた。		こども政策課

こども・子育て会議での意見

- ・虐待に関して、地域の病院と連携を図ってほしい。
- ・児童虐待防止法の改正について、内容の周知方法や関連する施策などを積極的に検討していただきたい。
- ・虐待の継続件数について情報提供を望む。

1 施策の展開	基本目標2	子育て家庭を支援します
---------	-------	-------------

施策5 障がい児施策の充実等

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価指標 (対比視点)	実施状況	需要状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	居宅介護事業	年間の利用者 実数16人	利用者数 (例年)	3	—	特になし。		長寿・障がい福祉課
2	発達に合わせた療育事業	年間の利用者 実数119人	利用者数 (例年)	3	—	年2回実施しているアンケートでは高い満足度を示している。		長寿・障がい福祉課
3	特別な支援を必要とする子どもへの支援	こどもこころの相談員による相談:169回 (有識者152回、医師17回) 特別支援教育相談員の配置 指導主事による相談 関係特別支援学校による相談	相談回数 (例年)	3	—	特別支援教育に関する相談について、早期の相談による就学支援及び医師、有識者による学校現場への派遣により適切な特別支援教育への支援を行った。		学校教育課
4	幼稚園・保育園・認定こども園・児童クラブにおける障がい児の受入れ推進	(保育園・第一幼稚園) 必要な園に障がい児加配を配置して、障がい児の特性に対応した保育を実施した。 対象園児71人	受入数 (例年)	(保) 3	(保) —	(保育園・第一幼稚園) 各園で需要に応じた人員を配置して実施している。	(保育園・第一幼稚園) 保育士の確保が大きな課題。	保育課、こども政策課
		(児童クラブ) 児童クラブ及び保護者の同意のもと、受入を実施。 対象児童 51人(長期休業のみ利用者含む)	受入数 (例年)	(児) 4	(児) 大	(児童クラブ) 発達障がい支援に関する研修を2回行い、支援員の質の向上に努めた。医療機関に発達障がいと診断されていないが似た様子の児童もあり、今後も需要の増加が見込まれる。	(児童クラブ) 研修を行っているが、先天性疾患やペースメーカーの使用など、様々な障がい児に対する専門的な知識や経験を持った支援員の不足が課題。 今後、処遇改善による支援員不足解消、研修による障がい対応可能支援員の増員、医療知識を持つ支援員の採用などが必要。	
		(私立幼稚園) 私立幼稚園7園で人員を配置し、特別支援教育を実施した。 対象園児 52人 旭ヶ丘第二こども園で3人実施(補助対象)	受入数 (例年)	3	—	各園で需要に応じた人員を配置して実施している。	幼稚園教諭・保育教諭の確保が大きな課題。	
5	障害児通所支援	年間の利用者 実数508人	利用者数 (例年)	4	—	利用者は年々増加している。		長寿・障がい福祉課
6	障害児福祉手当・特別児童扶養手当の支給	障害児福祉手当90人(3月末現在) 特別児童扶養手当325人(3月末現在)						長寿・障がい福祉課

こども・子育て会議での意見

1 施策の展開	基本目標3	保育サービス・幼児教育を充実します
---------	-------	-------------------

施策1 産後休暇及び育児休業後における教育・保育の円滑な利用

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	子育て支援事業の情報提供 及び利用支援	マイナンバーカードを用いて、自宅にいながらインターネット上で現況届や保育施設の利用申請書の提出ができる子育てワンストップサービスを導入済 ホームページや、子育て支援ガイドブックの配布等、子育て支援事業の周知に向けた有効活用を図った。また、子育て世代包括支援センター開設に併せ、子育てアプリをリリースし、スマートフォンからでも簡単に情報が得られるようにした。	取組の 実施 (例年)	3	一	アプリの登録会員数は1,180人(平成31年3月末現在)であり、引き続き、親子健康手帳の交付時などの機会をとらえアプリの周知に努める。		こども政策課、保育課
2	各種健康診査や事業等を通じた 情報提供	親子(母子)健康手帳交付時、各種事業・教室の開催時において、教育・保育施設等の利用に関する情報提供を行いました。(妊娠届出者数1,081人)	取組の 実施 (例年)	4	一		平成30年9月に子育て世代包括支援事業を開設し、母子保健型と基本型が一体となって利用者支援事業を実施。親子健康手帳交付時、各種事業教室の開催時において、教育・保育施設等の利用に関する情報提供を行っている。	こども政策課、子育て世代包括支援センター、保育課、保健センター

こども・子育て会議での意見

1 施策の展開	基本目標3	保育サービス・幼児教育を充実します
---------	-------	-------------------

施策2 安全・安心な保育環境の整備

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	保育園の整備	外堀一丁目地内の市所有地において、保育園を新設する運営事業者を公募し、選定を行い、平成31年4月からのじょうぶし保育園開園にむけて、整備補助を行った。	整備の 実施 (例年)	3	—	今後も引き続き、計画どおり民間事業者を公募し、新設保育園の整備を進めていく。		保育課

こども・子育て会議での意見

1 施策の展開	基本目標3	保育サービス・幼児教育を充実します
---------	-------	-------------------

施策3 多様な教育・保育ニーズに応える支援の推進

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい ー:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	保育サービスの充実	一時保育、延長保育、休日保育などの保育サービスを実施した。 一時保育延べ利用者数:4,255人 延長保育延べ利用者数:2,848人 休日保育延べ利用者数:181人	利用者数 (見込) (例年)	3	ー	特になし。		保育課
2	教育・保育の質の向上	(保育園・小規模保育事業所・第一幼稚園) 保育士全体研修、年齢別研修などを実施し、 保育の質の向上に努めた。 研修実施回数:50回	取組の 実施 (例年)	3	ー	特になし。		保育課
		(私立幼稚園) 小牧市教育委員会、愛知県、(公財)全日本 私立幼稚園幼児教育研究機構、(公社)愛知 県私立幼稚園連盟等が主催する各種研修会 に積極的に参加した。	取組の 実施 (例年)	3	ー	私立幼稚園では各園の教育方針 や、特色ある教育に応じた各種研 修にも参加しており、全体の参加 回数は把握できていない。	公私・幼保・幼小連携に向けた 研修への積極的な参加が望ま れる。	
3	認定こども園化の支援	外山幼稚園における平成31年度の幼保連携 型認定こども園への移行・運営開始に向け、 改修工事やその他認可に関する事務手続き を行った。	取組の 実施 (例年)	3	ー	特になし。	活用できる各種補助制度等の情 報提供や事務手続きの指導な ど、県と連携しながら、支援を 行っていく。	保育課
4	保育園民営化	・平成30年4月から篠岡保育園を民間移管した。 ・平成30年4月からみなみ保育園を指定管理 期間を経て民間移管した。	取組の 実施 (例年)	3	ー	特になし。	令和3年(平成33年)からの一色 保育園民営化に向け、令和元年 (平成31年)事業者を公募し、選 定する。現在策定中の次期計画 に民営化も含めて計画を盛り込 む。	保育課
5	就学前施設と小中学校との連携の推進	幼年期教育連携推進会議を実施し、幼年期 教育研修会を開催した。 研修参加者数:62人	研修 参加者数 (例年)	3	ー	小中学校教員の参加が増えてきた。	子ども達の連続した学びを共通 のものとし、幼稚園、保育園、 小・中学校それぞれが取り組ん でいることを理解し合うための研 修内容を今後も検討していく。	保育課

こども・子育て会議での意見

- ・就学前施設と小中学校との連携推進について、私立幼稚園が出席しやすくなるような工夫を望む。
- ・就学前施設と小中学校との連携推進について、分析や今後の方向性の具体的な記述を望む。

1 施策の展開	基本目標4	親子が健やかに育み合うことを支援します
---------	-------	---------------------

施策1 母子保健事業の充実

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	親子健康手帳交付	1,081人の妊娠届出に対して、親子健康手帳を交付した。平成30年9月からは、子育て世代包括支援センターを開設し、保健師、助産師の専門職が全員に対して面接を実施し交付している。						子育て世代包括支援センター
2	自己肯定感の醸成	子どもの自己肯定感がどのように高められるかを分かりやすく説明した動画を配信し、乳幼児を持つ親とそれを支える地域の人々に伝えた。 また、市内の小中学校において、「小牧市生と性のカリキュラム＝小学校・中学校版＝」を推進した。(動画配信のPRチラシを乳幼児健診で配布、生と性のカリキュラム小・中・高校生4,265人、出前講座29人、4か月児健診時健康教育1,080人)	参加者数 (例年)	3	一	生と性のカリキュラムは小・中・高校27校で実施した。出前講座は団体で実施。	ほぼ例年と同数の受講者数であるが、性的マイノリティやすべての年代の人の自己肯定感が高められることができるよう社会情勢に合わせたカリキュラムについて推進していけるよう、今後検討していく。	保健センター
3	妊婦健康診査事業	安心・安全なお産が迎えられるよう妊娠届出時、転入時に妊婦健康診査受診票(15枚/人)を交付した。 対象人数 1,295人 受診券枚数 13,366枚	対象人数 健診回数 (見込)	3	一	経済的負担の軽減及び疾病の早期発見・早期対応を図り、安心、安全なお産につなげることができた。		子育て世代包括支援センター
4	乳児家庭全戸訪問事業	育児をスタートしたばかりの世帯を保健連絡員等が訪問し、親子の成長を見守るとともに、専門的及び継続的支援が必要な家庭に対し、保健センター事業へとつなげた。対象1,101人(うち外国人88人)中、960人(うち外国人69人)に訪問を実施。そのうち、継続支援につながったケース35人。	訪問件数 (見込)	2	一	平成28年度より外国人の保護者にも、言葉の壁の有無に関わらず、赤ちゃん訪問に結びつけるよう保健連絡員及びOBに働きかけている。外国人への訪問は増えているが、訪問実施件数と継続支援につながったケース数は減少している。	子育て世代包括支援センターの助産師が早期に訪問を実施することから、早い段階で育児不安に対応でき継続支援につながるケース数が減少したと思われる。	保健センター

1 施策の展開	基本目標4	親子が健やかに育み合うことを支援します
---------	-------	---------------------

施策1 母子保健事業の充実

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
5	養育支援訪問事業	【専門的支援】 専門的支援が必要な家庭(実440件)に対して、延489件の訪問を実施した。 【育児・家事援助】 支援を必要としている家庭(実2件)に対して、延11時間支援を実施。	訪問件数 (見込)	4	—	【専門的支援】 専門的支援が必要な家庭に対して、複数回対応できるよう体制を整えた。 【育児・家事援助】 平成30年9月より、産前産後ヘルパー事業を実施。		子育て世代包括支援センター こども政策課
6	保健師・栄養士・歯科衛生士による訪問	育児不安の軽減を図るために訪問し、必要な支援を実施した。(延べ465件:妊婦16件、乳児108件、幼児225件、母親他116件に対して訪問にて保健指導を実施)	訪問件数 (例年)	3	—	平成30年9月に子育て世代包括支援センターが開設され、妊娠期から継続的な支援が実施されています。	訪問が必要な親子については、子育て世代包括支援センターと情報共有を密にして地区担当保健師が訪問していますが、より連携を深め切れ目のない支援を図っていきます。	保健センター
7	育児相談	【市内児童館巡回育児相談】 市内7ヶ所の児童館において、子育て世代包括支援センターの保健師、助産師が巡回育児相談を実施した。(各児童館4回/年) 相談件数:延757件/年 【母乳相談】 母乳育児等について相談支援が必要な者に対して、母乳相談を実施した。 相談件数:延112件/年	相談件数 (例年)	3	—	【市内児童館巡回育児相談】 子育て世代包括支援センターへ来所することができない親子に対して、身近な場所で育児相談を実施することができた。 【母乳相談】 母乳育児等について相談支援が必要な者に対して、専門的相談を実施することができた。	【アニバーサリー事業】 (セカンドブック事業) 令和元年度より実施予定。 子育て世代包括支援センター及び市内各児童館において1歳のお誕生日の節目に絵本等をプレゼントし、その機会に育児相談や情報提供を行い、必要に応じて関係機関とも連携して育児支援につなげます。	子育て世代包括支援センター
		乳幼児発達相談・運動発達相談や育児相談、育児相談専用電話「こまねっと」等を通じて、育児に関する相談を行い、育児不安の軽減を図った。(発達相談237件、運動発達相談62件、電話相談164件)	相談件数 (例年)	3	—	平成30年9月に子育て世代包括支援センターが開設され、妊娠期から継続的な支援が実施されている。(9月以降の子育て世代包括支援センターの相談件数は実績に加算されていません。)	発達相談、運動発達相談については、昨年度より増加しているが、電話相談については、子育て世代包括支援センターが開設されたことにより、相談件数が減少しています。	保健センター

1 施策の展開	基本目標4	親子が健やかに育み合うことを支援します
---------	-------	---------------------

施策1 母子保健事業の充実

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
8	乳幼児健康診査・歯科健康診査	ほぼ全員の親子と会うことができる健康診査において、疾病の早期発見のみならず、乳幼児の心と体の成長発達を親と確認すると共に、育児支援に視点を置いた健康診査を実施した。(4か月児健診受診率99.4%、1歳6か月児健診受診率99.8%、3歳児健診受診率97.9%)					未受診者に対し、電話や訪問等で受診勧奨をすることで、昨年度より受診率が向上した。引き続き受診勧奨を実施していきます。	保健センター
9	母親歯科健康診査	母親の口腔内の状況を定期的に把握することで、歯科疾患の早期発見、早期予防を図り、子どもの健康への影響の予防に努めた。(母親歯科健診受診率93.9%)					子どもの口腔内に限らず、母親の口腔内にも関心をもっていたできるよう、引き続き取り組みます。	保健センター
10	パパママ教室・離乳食教室	パパママ教室を開催し、安心して妊娠・出産・育児にのぞめるよう支援するとともに、家族が一緒に子育てをする気持ちづくりの手助けをした。また、離乳食教室を開催し、各時期に応じた適切な離乳ができるよう指導・助言を行った。(パパママ教室:年間6回開催、137組参加うち夫の参加133人、離乳食ごっくん教室:280組、かみかみ教室:173組)	参加組数 (例年)	3	一	パパママ教室については、定員30組のところ、毎回20～25組程参加されている。離乳食教室については、定員は初期が27人で、ほぼ毎回定員に達しており、後期は21人の定員で半数くらいの参加状況。	平成30年9月から子育て世代包括支援センターで親子健康手帳が交付され、会場が異なる各種教室について周知を図っていきます。また子育て世代包括支援センターでの相談でも離乳食に関する相談もあることから教室について周知連携を図っていきます。	保健センター
11	予防接種	適切な時期に予防接種ができるよう予診票を送付して支援に努めた。健診等で来所した際に接種歴を確認し、未接種者に対し指導と助言を行った。(BCG98.9%、麻しん風しん混合第1期95.7%、麻しん風しん混合第2期91.9%)					特になし。	保健センター

こども・子育て会議での意見

・訪問における言葉の壁について、市で導入した自動翻訳機の使途範囲拡大や、機器増設の予算確保といった具体的且つ迅速な対策を検討願いたい。

1 施策の展開	基本目標4	親子が健やかに育み合うことを支援します
---------	-------	---------------------

施策2

小児医療の充実

※実施状況…4:計画を実施(見込以上/例年以上) 3:計画を実施(見込並/例年並) 2:計画を実施(見込未満/例年未満) 1:計画不実施/縮小

※需要状況…大:計画や実施状況よりも需要が大きい 一:計画や実施状況と同程度である(もしくは需要による評価が適切ではない) 小:計画や実施状況よりも需要が小さい

No	取り組み	H30年度実績	評価 指標 (対比視点)	実施 状況	需要 状況	質的分析 (H30意見・評判・需要)	課題・特記すべき事項等	担当課
1	休日急病診療所(小児医療科)の充実	休日急病診療所での小児医療の継続に努めるとともに市内小児医療の情報提供と休日急病診療所での市内医療の周知に努めた。	取組の実施(例年)	3	—	休日急病診療所での小児医療に関する問題等意見は寄せられていない。引き続き小児医療の継続に努める。	特になし。	保健センター

こども・子育て会議での意見

2 教育・保育の量の見込みと提供体制の確保

(1) 保育事業の見込みと確保の方策

事業名	保育園、認定こども園、地域型保育事業	提供区域	3区域
事業内容	●児童福祉法に基づき、保護者の労働、疾病等の理由で、家庭において乳幼児を保育することができない保護者に代わって、その乳幼児の心身の健全な発達をめざし保育することを目的とする事業 ●全市域の保育園は20園(公立15園、私立5園) (平成31年4月よりじょうぶし保育園が新たに開園予定) ●中部地区に地域型保育事業(小規模保育事業)を平成27年度より設置を開始。平成31年3月31日現在16施設 ●全市域の認定こども園数は1園 (平成31年4月より外山幼稚園が幼保連携型認定こども園へ移行予定)		

●全市 見込み

		27年度			28年度			29年度			30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込み		1,842	72	773	1,833	70	763	1,789	70	757	1,936	69	785	2,006	82	800
②確保の内容	認定こども園・保育園	2,022	88	780	2,022	88	780	2,022	88	780	2,080	72	638	2,280	81	683
	地域型保育		12	64		18	96		18	96		52	194		52	194
②-①		180	28	71	189	36	113	233	36	119	144	55	47	274	51	77

実績

		27年度			28年度			29年度			30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①実績		1,809	43	720	1,834	52	768	1,854	115	753	1,816	119	726	0	0	0
②確保の内容	認定こども園・保育園	1,951	44	655	2,022	87	625	2,086	76	639	2,210	88	684	0	0	0
	地域型保育	—	9	38	0	18	117	0	43	146	0	56	219	0	0	0
②-①		142	10	-27	188	53	-26	232	4	32	394	25	177	0	0	0

●東部地区 見込み

		27年度			28年度			29年度			30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込み		344	10	157	343	10	146	315	10	141	390	7	140	400	10	145
②確保の内容	認定こども園・保育園	452	25	163	452	25	163	452	25	163	436	15	150	436	15	150
	地域型保育		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0
②-①		108	15	6	109	15	17	137	15	22	46	8	10	36	5	5

実績

		27年度			28年度			29年度			30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①実績		352	3	130	362	6	141	379	14	133	364	13	122			
②確保の内容	認定こども園・保育園	383	6	130	426	12	138	431	15	150	487	28	168			
	地域型保育	—	0	0		0	0		0	0		0	0			
②-①		31	3	0	64	6	-3	52	1	17	123	15	46	0	0	0

●中部地区

見込み

		27年度			28年度			29年度			30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込み		1,088	46	459	1,093	45	458	1,078	45	457	1,168	52	495	1,218	60	500
②確保の内容	認定こども園・保育園	1,128	45	427	1,128	45	427	1,128	45	427	1,212	36	331	1,412	45	376
	地域型保育		12	64		18	96		18	96		52	194		52	194
②一①		40	11	32	35	18	65	50	18	66	44	36	30	194	37	70

実績

		27年度			28年度			29年度			30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①実績		1,060	33	436	1,095	36	467	1,115	83	474	1,110	88	478			
②確保の内容	認定こども園・保育園	1,124	23	371	1,140	54	333	1,224	39	332	1,275	39	345			
	地域型保育	—	9	38		18	117		43	146		56	219			
②－①		64	-1	-27	45	36	-17	109	-1	4	165	7	86	0	0	0

●西部地区

見込み

		27年度			28年度			29年度			30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①量の見込み		410	16	157	397	15	159	396	15	159	378	10	150	388	12	155
②確保の内容	認定こども園・保育園	442	18	190	442	18	190	442	18	190	432	21	157	432	21	157
	地域型保育		0	0		0	0		0	0		0	0		0	0
②一①		32	2	33	45	3	31	46	3	31	54	11	7	44	9	2

実績

		27年度			28年度			29年度			30年度			31年度		
		2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号	2号		3号
		3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳	3-5歳	0歳	1-2歳
①実績		397	7	154	377	10	160	360	18	146	342	18	126			
②確保の内容	認定こども園・保育園	444	15	154	456	21	154	431	22	157	448	21	171			
	地域型保育	—	0	0		0	0		0	0		0	0			
②一①		47	8	0	79	11	-6	71	4	11	106	3	45	0	0	0

確保の内容（提供体制）	待機児童の多い中部地区において、小規模保育事業を実施しており、平成30年度は3施設認可した。
備考（課題・問題点等）	引き続き、中部地区に開設した小規模保育事業の卒園児（3歳児）の受入先を確保する必要がある。

こども・子育て会議での意見

・確保の内容と実績が乖離しているケースが見受けられるため、今後の見込みについてしっかり分析されたい。

2 教育・保育の量の見込みと提供体制の確保

(2) 教育事業の見込みと確保の方策

事業名	幼稚園、認定こども園	提供区域	3区域
事業内容	●学校教育法に基づき、幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長する幼児教育を実施する事業 ●全市域の幼稚園は10園(公立1園、私立9園) ●全市域の認定こども園数は1園 (平成31年4月より外山幼稚園が幼保連携型認定こども園へ移行予定)		

●全市 見込み

		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度	
		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
①量の見込み	市内	1,654	388	1,653	384	1,613	376	1,774	197	1,758	195
	他市の子ども	犬山市 30		犬山市 30		犬山市 30		犬山市 30		犬山市 30	
②確保の内容	幼稚園・	市内 2,868		市内 2,868		市内 2,868		市内 2,711		市内 2,571	
	認定こども園	犬山市 120		犬山市 120		犬山市 120		犬山市 120		犬山市 120	
②-①		916		921		969		830		708	

実績

		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度	
		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
①実績	市内	1,781	181	1,760	162	1,488	235	1,570	152	0	0
	他市の子ども	犬山市 31		犬山市 23		犬山市 23		犬山市 33		犬山市 0	
②確保の内容	幼稚園・	市内 2,868		市内 2,868		市内 2,711		市内 2,711		市内 0	
	認定こども園	犬山市 130		犬山市 126		犬山市 120		犬山市 120		犬山市 0	
②-①		1,005		1,049		1,085		1,076		0	

●東部地区 見込み

		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度	
		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
①量の見込み	市内	533	125	532	124	488	114	537	60	508	56
	他市の子ども	犬山市 30		犬山市 30		犬山市 30		犬山市 30		犬山市 30	
②確保の内容	幼稚園・	市内 1,218		市内 1,218		市内 1,218		市内 1,061		市内 1,061	
	認定こども園										
②-①		530		532		586		434		467	

実績

		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度	
		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
①実績	市内	539	89	584	43	531	61	583	18		
	他市の子ども	犬山市 27		犬山市 20		犬山市 16		犬山市 26		犬山市	
②確保の内容	幼稚園・	市内 1,218		市内 1,218		市内 1,061		市内 1,061		市内	
	認定こども園	犬山市 0		犬山市 0		犬山市 0		犬山市 0		犬山市	
②-①		563		571		453		434		0	

●中部地区
見込み

		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度	
		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
①量の見込み	市内 他市の子ども	938	220	942	220	946	222	1,037	115	1,049	117
②確保の内容	幼稚園・ 認定こども園	市内 犬山市	1,340 120	市内 犬山市	1,340 120	市内 犬山市	1,340 120	市内 犬山市	1,340 120	市内 犬山市	1,200 120
②-①		302		298		292		308		154	

実績

		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度	
		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
①実績	市内 他市の子ども	1,036	73	998	97	805	141	828	108		
②確保の内容	幼稚園・ 認定こども園	市内 犬山市	1,340 130	市内 犬山市	1,340 126	市内 犬山市	1,340 120	市内 犬山市	1,340 120	市内 犬山市	
②-①		358		368		507		517		0	

●西部地区
見込み

		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度	
		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
①量の見込み	市内 他市の子ども	183	43	179	40	179	40	200	22	201	22
②確保の内容	幼稚園・ 認定こども園	市内 犬山市	310 0	市内 犬山市	310 0	市内 犬山市	310 0	市内 犬山市	310 0	市内 犬山市	310 0
②-①		84		91		91		88		87	

実績

		27年度		28年度		29年度		30年度		31年度	
		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳		3-5歳	
		1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号
①実績	市内 他市の子ども	206	19	178	22	152	33	159	26		
②確保の内容	幼稚園・ 認定こども園	市内 犬山市	310 0	市内 犬山市	310 0	市内 犬山市	310 0	市内 犬山市	310 0	市内 犬山市	
②-①		84		110		125		125		0	

確保の内容（提供体制）	幼稚園での教育実施状況を集計
備考（課題・問題点等）	各園における2号認定児童の受入確保方法が課題

こども・子育て会議での意見

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(1) 時間外保育事業の見込みと確保の方策

事業名	時間外保育事業	提供区域	市全域
事業内容	●保育時間が11時間を超える保育ニーズに対応したサービスを提供する事業		

見込み

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	178	178	174	290	320
②確保の内容	178	178	174	290	320
②ー①	0	0	0	0	0

実績

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	290	258	331	290	
②確保の内容	290	258	331	290	
②ー①	0	0	0	0	0

確保の内容（提供体制）	村中、味岡、レイモンド小牧、みなみ、篠岡、大山、小木、大城 保育園で実施 7:00～7:30、18:30～19:00
備考（課題・問題点等）	

こども・子育て会議での意見

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(2) 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)の見込みと確保の方策

事業名	放課後児童健全育成事業 (放課後児童クラブ)	提供区域	小学校区
事業内容	● 昼間保護者が就労などで家庭にいない小学校に就学している児童を対象として、放課後等に家庭に代わる適切な遊びと生活の場を提供し、放課後児童の健全育成を図る事業 ● 16小学校区で実施		

見込み

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み (通年、長期休業期間利用者を含む)	低学年	1,686	1,630	1,626	1,605	1,605
	高学年	562	542	539	536	532
	合計	2,248	2,172	2,165	2,141	2,137
②確保の内容		2,140	2,172	2,165	2,141	2,137
②ー①		※▲108	0	0	0	0

※量の見込みは1年生から6年生までの利用希望を算出したものであり、27年度は5年生までが対象で6年生は対象でないため、確保の不足数(▲108)が生じています。

実績

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績 (通年、長期休業期間利用者を含む)	低学年	1,591	1,679	1,680	1,580	0
	高学年	464	657	660	637	0
	合計	2,055	2,336	2,340	2,217	0
②確保の内容		2,055	2,336	2,340	2,217	
②ー①		0	0	0	0	0

①量の見込の内容＜小学校区＞

見込み

児童クラブ名		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
桃ヶ丘	低学年	82	72	64	55	48
	高学年	27	24	21	19	16
	合計	109	96	85	74	64
一色	低学年	105	98	95	91	89
	高学年	35	33	32	31	29
	合計	140	131	127	122	118
米野	低学年	186	185	191	194	200
	高学年	62	62	63	65	66
	合計	248	247	254	259	266
北里	低学年	86	78	74	69	65
	高学年	29	26	24	23	21
	合計	115	104	98	92	86
本庄	低学年	174	182	196	208	222
	高学年	58	61	65	69	73
	合計	232	243	261	277	295
光ヶ丘	低学年	66	59	53	47	42
	高学年	22	20	18	16	14
	合計	88	79	71	63	56
篠岡	低学年	80	77	78	77	78
	高学年	26	26	26	26	26
	合計	106	103	104	103	104
小牧	低学年	138	130	125	119	116
	高学年	46	43	42	40	39
	合計	184	173	167	159	155
味岡	低学年	155	154	156	157	159
	高学年	52	51	52	52	53
	合計	207	205	208	209	212
小牧原	低学年	118	113	110	106	103
	高学年	39	37	36	35	34
	合計	157	150	146	141	137
小木	低学年	68	70	73	76	79
	高学年	23	23	24	25	26
	合計	91	93	97	101	105
村中	低学年	86	86	89	91	95
	高学年	29	28	30	31	32
	合計	115	114	119	122	127
小牧南	低学年	144	139	140	140	140
	高学年	48	46	46	46	47
	合計	192	185	186	186	187
三ッ淵	低学年	86	84	85	85	85
	高学年	29	28	28	28	28
	合計	115	112	113	113	113
陶	低学年	43	42	42	41	41
	高学年	14	14	14	14	14
	合計	57	56	56	55	55
大城	低学年	69	61	55	49	43
	高学年	23	20	18	16	14
	合計	92	81	73	65	57

実績

児童クラブ名		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
桃ヶ丘	低学年	75	104	104	98	
	高学年	17	29	38	39	
	合計	92	133	142	137	0
一色	低学年	103	122	117	108	
	高学年	32	39	41	41	
	合計	135	161	158	149	0
米野	低学年	167	178	160	138	
	高学年	39	74	66	67	
	合計	206	252	226	205	0
北里	低学年	92	92	94	91	
	高学年	28	36	42	43	
	合計	120	128	136	134	0
本庄	低学年	137	134	128	117	
	高学年	53	87	90	50	
	合計	190	221	218	167	0
光ヶ丘	低学年	76	85	63	72	
	高学年	19	25	37	48	
	合計	95	110	100	120	0
篠岡	低学年	80	75	77	73	
	高学年	29	47	38	42	
	合計	109	122	115	115	0
小牧	低学年	135	140	151	127	
	高学年	40	41	48	49	
	合計	175	181	199	176	0
味岡	低学年	149	144	172	148	
	高学年	35	48	49	49	
	合計	184	192	221	197	0
小牧原	低学年	140	136	123	106	
	高学年	24	39	44	39	
	合計	164	175	167	145	0
小木	低学年	62	71	73	73	
	高学年	21	22	18	19	
	合計	83	93	91	92	0
村中	低学年	87	82	90	87	
	高学年	26	53	31	39	
	合計	113	135	121	126	0
小牧南	低学年	110	131	145	160	
	高学年	38	46	35	43	
	合計	148	177	180	203	0
三ッ渚	低学年	67	75	70	75	
	高学年	20	21	35	27	
	合計	87	96	105	102	0
陶	低学年	41	51	55	53	
	高学年	17	14	17	23	
	合計	58	65	72	76	0
大城	低学年	70	59	58	54	
	高学年	26	36	31	19	
	合計	96	95	89	73	0

確保の内容（提供体制）	
備考（課題・問題点等）	登録児童数は減少したが、利用児童数が多いため、長期休業期間を中心に、施設の狭隘化が課題となり対応が必要な児童クラブがある。建物の老朽化、支援員の不足、支援員の処遇の改善、障がい児童の受入体制の整備等、課題は山積。
こども・子育て会議での意見	

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(3) 子育て短期支援事業(ショートステイ)の見込みと確保の方策

事業名	子育て短期支援事業 (ショートステイ)	提供区域	市全域
事業内容	●保護者が疾病、出産、育児不安等で家庭による養育が一時的に困難になった場合、1週間以内(宿泊を伴う)を原則として児童養護施設等で子どもを預かる事業 ●竜陽園(2歳まで)、溢愛館(2歳以上)の2か所で実施		

見込み

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	10	10	10	10	9
②確保の内容	21	21	21	21	21
②-①	11	11	11	11	12

実績

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	0	8	0	0	
②確保の内容	0	21	0	0	
②-①	0	13	0	0	0

確保の内容(提供体制)	
備考(課題・問題点等)	

こども・子育て会議での意見

・子育て短期支援事業(ショートステイ)について、事前に情報が行き届き、必要な状況となったときにしっかりと利用することができるよう周知を望む。

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(4) 地域子育て支援拠点事業の見込みと確保の方策

事業名	地域子育て支援拠点事業	提供区域	市全域
事業内容	●乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う事業 ●中央子育て支援センター、子育て広場、各児童館(7館)の子育て支援室で実施 ※30年度9月から子育て広場は廃止		

見込み

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	90,763	89,428	88,372	87,080	85,615
②確保の内容	220,000 (9箇所)	220,000 (9箇所)	220,000 (9箇所)	220,000 (9箇所)	220,000 (9箇所)
②-①	129,237	130,572	131,628	132,920	134,385

実績

全体	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	221,470	222,795	211,209	181,689	
②確保の内容	221,470 (9箇所)	222,795 (9箇所)	211,209 (9箇所)	181,689 (8箇所)	(箇所)
②-①	0	0	0	0	0

確保の内容(提供体制)	
備考(課題・問題点等)	子育て家庭の相談に乗り、子育てに対する不安軽減を図るため、引き続き職員研修を実施し、質の向上にも努めていく。

こども・子育て会議での意見

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(5) 一時預かり事業の見込みと確保の方策

事業名	一時預かり事業	提供区域	市全域
事業概要	● 幼稚園における在園児を対象とした一時預かり 私立幼稚園での、通常の教育時間後や長期休業中などに、保護者の希望に応じて、預かり保育を実施している事業 ● その他 保護者の就労、疾病、出産または育児疲れの解消などのために、保育園等で一時的な子どもの保育を実施している事業		

見込み

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
幼稚園における在園児を対象とした一時預かり	①量の見込み	16,466	16,435	16,005	16,073	15,837
	②確保の内容	34,700	34,700	34,700	34,700	34,700
	②-①	18,234	18,265	18,695	18,627	18,863
その他（保育園、未就学児ファミリーサポート事業等）	①量の見込み	2,176	2,158	2,117	2,106	2,073
	②確保の内容	2,176	2,158	2,117	2,106	2,073
	②-①	0	0	0	0	0

実績

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
幼稚園における在園児を対象とした一時預かり	①実績	31,103	33,583	46,000	49,000	
	②確保の内容	31,103	33,583	46,000	49,000	
	②-①	0	0	0	0	0
その他（保育園、未就学児ファミリーサポート事業等）	①実績	3,122	3,165	4,109	4,259	
	②確保の内容	3,122	3,165	4,109	4,259	
	②-①	0	0	0	0	0

確保の内容（提供体制）	・幼稚園在園児について、各幼稚園において教育時間を延長し、必要に応じて保育を実施（私立幼稚園については私学助成を受けて実施） ・未就園児を対象に、一時的に保育が必要となった児童の保育を市内保育園で実施（村中、味噌、レイモンド小牧、みなみ、篠岡保育園の私立5園では非定型、私的理由による利用も可）
備考（課題・問題点等）	

こども・子育て会議での意見

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(6) 病児保育事業の見込みと確保の方策

事業名	病児保育事業	提供区域	市全域
事業概要	●子どもが病気で、かつ保護者が家庭で保育を行うことが困難な場合に、専用施設で一時的に子どもを預かる事業、並びに保育中の体調不良児を一時的に預かるほか、保育所入所児に対する保健的な対応をする事業 ●病児保育を2か所、体調不良児対応型を4か所で実施		

●病児対応型

見込み

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	1,301	1,291	1,266	1,260	1,240
②確保の内容	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400
②－①	1,099	1,109	1,134	1,140	1,160

実績

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	747	677	811	734	
②確保の内容	2,400	2,400	2,400	2,400	
②－①	1,653	1,723	1,589	1,666	0

●体調不良児対応型

見込み

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	－	120	240	480	480
②確保の内容	－	480	960	1,920	1,920
②－①	－	360	720	1,440	1,440

実績

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	－	250	758	917	0
②確保の内容	－	480	960	1,920	0
②－①	－	230	202	1,003	0

確保の内容（提供体制）	（病児対応型） 市内にある2箇所の診療所に併設された専用施設で実施 はやしこどもクリニック（ポケットクラブ）：定員6人 小木みなみクリニック（ゆうかり）：定員4人 （体調不良児対応型） 味岡、レイモンド小牧、みなみ、篠岡保育園で実施 看護師等1名につき対象児童2名対応可
備考（課題・問題点等）	

こども・子育て会議での意見

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(7) 子育て援助活動支援事業(ファミリー・サポート・センター事業)の見込みと確保の方策

事業名	子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	提供区域	市全域
事業内容	●就学児童の放課後児童クラブへの送迎など、一時的に子どもを預かってほしい会員の依頼に応じて、育児の手助けができる会員を紹介する事業		

見込み

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	491	485	489	478	470
②確保の内容	491	485	489	478	470
②-①	0	0	0	0	0

実績

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	898	874	686	583	
②確保の内容	898	874	686	583	
②-①	0	0	0	0	0

※利用件数

確保の内容（提供体制）	就学児童の利用については、放課後児童クラブの運営時間の延長により利用者が減少傾向にあるが、依頼に対して適切な援助を行うことができた。
備考（課題・問題点等）	利用会員と比較し、援助会員が不足しているため、会員獲得方法について検討する必要がある。

こども・子育て会議での意見

--

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(8) 利用者支援事業の見込みと確保の方策

事業名	利用者支援事業	提供区域	市全域
事業内容	●教育・保育・保健施設や地域の子育て支援事業の情報を集約し、利用者が多様な子育て支援サービスの中から適切なものを選択できるよう情報提供を行い、子育て家庭からの相談に応じるとともに、関係機関との連絡調整を実施し、妊娠・出産・育児期に渡り切れ目なく支援を行う事業。		

見込み

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	0	0	1	2	2
②確保の内容	0	0	1	2	2
②－①	0	0	0	0	0

実績

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	0	0	1	1	
②確保の内容	0	0	1	1	
②－①	0	0	0	0	0

確保の内容（提供体制）	相談に応じて、保健師、助産師、保育士等の専門職が対応した。
備考（課題・問題点等）	

こども・子育て会議での意見

--

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(9) 乳児家庭全戸訪問事業の見込みと確保の方策

事業名	保健連絡員・保健連絡員OBによる赤ちゃん訪問	提供区域	市全域
事業内容	●生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、地域に自分のことを知っている「頼れる近所のおばさん」がいることを親子に知ってもらう事業 ●子育て支援に関する情報の提供や親子の心身の状況や育児状況などに耳を傾け、必要に応じて専門的・継続的支援につなげる事業		

見込み(人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	1,158	1,143	1,126	1,108	1,086
②確保の内容	1,363	1,345	1,325	1,304	1,278
②-①	205	202	199	196	192

実績(人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	1,056	1,138	1,062	960	
②確保の内容	1,308	1,230	1,188	1,101	
②-①	252	92	126	141	0

確保の内容（提供体制）	赤ちゃん訪問対象者（訪問の同意あり）に対して、保健連絡員及びOBによる赤ちゃん訪問を実施することができた。
備考（課題・問題点等）	言葉の壁がある外国人に対して、平成28年度より保健連絡員及びOBの協力を得て、赤ちゃん訪問を実施することができた。

こども・子育て会議での意見

・訪問における言葉の壁について、市で導入した自動翻訳機の使途範囲拡大や、機器増設の予算確保といった具体的且つ迅速な対策を検討願いたい。

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(10) 養育支援訪問事業の見込みと確保の方策

事業名	助産師による妊婦・産婦・新生児・乳児訪問	提供区域	市全域
事業内容	●出産前後の不安の強い時期に必要なに応じて訪問し、育児不安の軽減を図る事業		

見込み

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	350	350	350	500	500
②確保の内容	350	350	350	500	500
②－①	0	0	0	0	0

実績

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	364	365	439	489	
②確保の内容	364	364	514	514	
②－①	0	-1	75	25	0

確保の内容（提供体制）	専門的支援が必要な家庭に対して、複数回対応できるよう体制を整えた。
備考（課題・問題点等）	

こども・子育て会議での意見

--

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(11) 妊婦に対する健康診査(妊婦健康診査事業)の見込みと確保の方策

事業名	妊婦に対する健康診査 (妊婦健康診査事業)	提供区域	市全域
事業内容	●妊婦と胎児の健康の保持増進及び異常の早期発見により、適正な医療や保健指導等につながることで、安全で安心な出産ができる環境を整え、健全な育児に臨めるように、必要な回数の妊婦健康診査の受診を促し、公費負担を行う事業		

見込み

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	対象人数(人)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	健診回数(回)	18,000	18,000	18,000	18,000	18,000
②確保の内容	対象人数(人)	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	健診回数(回)	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500
②-①	対象人数(人)	0	0	0	0	0
	健診回数(回)	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500

実績

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	対象人数(人)	1,490	1,488	1,372	1,295	
	受診券枚数 (枚)	16,929	16,329	15,776	13,366	
②確保の内容	対象人数(人)	1,490	1,488	1,372	1,295	
	受診券枚数 (枚)	22,350	22,320	20,580	19,425	
②-①	対象人数(人)	0	0	0	0	0
	受診券枚数 (枚)	5,421	5,991	4,804	6,059	0

確保の内容(提供体制)	安心・安全なお産が迎えられるよう妊娠届出時、転入時に妊婦健康診査受診票(15枚)を交付した。
備考(課題・問題点等)	

こども・子育て会議での意見

3 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保

(12) 実費徴収に係る補足給付事業の見込みと確保の方策

事業名	実費徴収に係る補足給付事業	提供区域	市全域
事業内容	●保護者の世帯所得の状況等を勘案して、特定教育・保育施設等に対して保護者が支払うべき日用品、文房具その他の教育・保育に必要な物品の購入に必要な費用又は行事への参加に要する費用等を助成する事業		

見込み

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	—	21	21	21	21
②確保の内容	—	21	21	21	21
②－①	—	0	0	0	0

実績

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①実績	—	21	15	11	
②確保の内容	—	21	15	11	
②－①	—	0	0	0	0

確保の内容（提供体制）	生活保護法第11条第1項各号に規程する扶助のいずれかを受けている世帯、又は中国残留邦人等の円滑な帰国の促進並びに永住帰国した中国残留邦人等及び特定配偶者の自立の支援に関する法律第14条第2項各号に規定する支援給付のいずれかを受けている世帯のいずれかに該当する支給認定保護者を対象に支援する。
備考（課題・問題点等）	

こども・子育て会議での意見